

富士見市立勝瀬中学校 生徒向け学校だより



# 青麦プラス

強く素直に  
まっすぐに No. 15



## 十の戒め



9月に出した学校だよりを読んでくれたでしょうか。自分の父の話を書きました。自分は子どものころ、父親から結構きびしく育てられました。昔の人ですから、同じようなことをしつこいほど話をされましたから、今でも親によく言われた言葉が体や心にしみついています。さてみなさんは、親御さんから、常日頃どんなことを教えられているでしょう。

「勉強しなさい」ですか。「挨拶しなさい」ですか。「親に口答えするな」ですか。「先生に叱られるようなことはするな」ですか(^\_^)。

自分は、親から勉強しろと言われた記憶がありません。それより、きちんと挨拶をしろ、嘘をつくな、卑怯(ひきょう)なことをするな、約束を守れ、人様に迷惑をかけるな としつこいくらい言われて育ちました。幼い子どもは、自分の都合のいい嘘をついたり、自分だけ得をしたいとするいことをしたりします。そのせいで叱られたり、人に迷惑をかけてしまうこともあります。自分も小学生までは、そんなことがよくありました。けれども、大人に近づくに従って、「してはいけないこと」を学んでいきます。なぜなら、大人になって嘘をついたり、約束を守れなかったり、卑怯なことをすれば、たちまち信用(信頼)を失ってしまうからです。人から信頼されなければ、孤立して、生活が立ち行かなくなります。だから、親は、子どものうちから、口を酸っぱくして、このことを子どもに教えます。

朝会で、「モーセの十戒(じっかい)」や仏教の教えにある「十善戒(じゅうぜんかい)」について触れた上で、生活する上で、日頃から自分自身の行動や心掛けとして意識しておかなければならないことを「十の戒め(いましめ)」として皆さんに示しました。

実は、この「戒め」は、自分が学級担任をしている時に、道徳の授業で生徒たちに示した内容をベースにしています。他の学校にいた時も、生徒に示していました。少し説教めいて、押しつけがましい感じがするので、皆さんに話すのは、躊躇(ちゅうちゅう)していたのですが、やはり大事なことなので伝えることにしました。

完璧な人はいません。この先も何か失敗をしてしまうことがあるかもしれません。その原因は恐らく「十の戒め」のいずれかに当てはまるのではないかと思います。

自分自身の行動を律する指針の1つにしてほしいと願っています。

勝瀬中学校

### よき人として生きる「十の戒め」

- 1 嘘をついてはいけません
- 2 人をだましてはいけません
- 3 人をいじめてはいけません
- 4 人に迷惑をかけてはいけません
- 5 人を傷つけてはいけません
- 6 目上の人を敬わなければいけません
- 7 物を粗末にしてはいけません
- 8 物を盗んではいけません
- 9 約束を破ってはいけません
- 10 卑怯な振る舞いをしてはいけません

\*この「青麦プラス」は保護者にお渡しして必ず読んでいただいでください。